

No.205
2022.9.20

響き

庄原コミュニティセンター報

庄原のうき

令和4年7月31日現在

世帯数.....2,679戸

男性.....3,636人

女性.....3,868人

合計.....7,504人

発行／庄原コミュニティセンター

出雲市美川町庄原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる庄原 笑顔の未来
活かそう 人を 歴史を 資源を

8/15
(月)

夜空に輝く華麗な花火 庄原 花火の夕べ

庄原夏まつり実行委員会



今年もコロナ禍により、恒例の「庄原夏まつり花火の夕べ」は、花火に特化し、昨年と同じように、「花火の夕べ」として開催されました。

今年も趣向を凝らした花火が打ち上げられ、花火が上がるたびに大きな歓声上がり、コロナ禍で沈んでいた気持ちがパーッと明るくなった感じがしました。庄原地区の皆さんに協賛していただき実施している「花火の夕べ」はすっかり庄原のお盆の風物詩となっています。

7/11
(月)

布のコサージュ作り

自主企画事業

ふれあい交流部



家に眠っている余り布(はぎれ)を木工用ボンドと水で「クラフト布」に加工して布のコサージュを作りました。

布の素材や厚さによってできあがりイメージがそれぞれ違う素敵なコサージュが完成し、参加のみなさんはできあがったコサージュを大事そうに持ち帰られました。後日、コミセンにコサージュをつけて来館される方もあり、嬉しく思いました。

コロナの感染者が急増し、参加者数は8名でしたが、コサージュを作りながら交流を深めることができました。

ていねいに
ていねいに...

すてきな
思い出ね♡



写真でたどる 庄原 Vol.2 あの日あの時～そして現在

まちづくり部

2022年夏も大雨による激甚災害が全国各地に襲いかかりました。
庄原も幾度も被害を受けています。写真は昭和9年の水害時のものです。



▲昭和9年9月 新川水害

左の写真は町中の水位が上がり、水害復旧に動き出す様子が見られます。
家の被害状況、近所の安否がわかり、安心したような姿に水害の悲惨な状況を
読み取ることができます。



▲汽船町の様子
警察官を乗せた舟が見えます。



▲現在の様子
最近は大きな災害もなく穏やかな日々が続く庄原のまち。

『響き』No. 204)に新たな情報が届く。



松江航路の汽船就航式
『響き』No.204に掲載

2022年7月20日発行の『響き』に掲載した「松江航路の汽船就航式」の写真は、唯一今に残る貴重な汽船入港の様子を伝えています。この記事を見た町内の方から、貴重な情報をいただきました。庄原が港湾
地になった年代はもっと古く、江戸時代には、天保、文政、平田が3つの基地で、松江藩の史蹟清水の
大動脈であったこと、また、蒸気船の第1号として、明治8年に「外輪船汽船丸」が就航したこと、そして、
明治22年9月15日付け「山陰新聞」には、汽船を1隻購入し、同年10月1日から、松江、天保、庄原間の航
路を開設。蒸気船名は「松江丸」と記載されている」とのことでした。

なお、提供資料によると、明治40年5月には、新庄造船が「松江合同汽船会社」を創設し、海上航路が安
定したことも記載されていました。

(注)外輪船：推進機能として、船の両舷に水車型の装置である外輪を取り付けた船のこと。

7/13
(水)

災対&庄原コミセン運営委員会・専門部研修

庄原地区災害対策委員会
庄原コミュニティセンター運営委員会・専門部



新型コロナウイルスの感染拡大により実施を見合わせていた専門部研
修を、災害対策委員会と合同で実施しました。今、東日本大震災による
福島原子力発電所の事故により、全国の原子力発電所に対し安全対策等
の見直しがなされているところであり、島根原子力発電所においても2号
機の再稼働に向けての安全対策工事や3号機建設などが進められている時、是非、実際の工事の様子を見
たり、中国電力の原子力発電に対する考え方や安全対策等について研修したいと考え、午前中、島根原子
力発電所を訪問しました。

午後は、まず改修された県立
美術館を見学しました。改修後
の開催とあって展示も充実して
おり、見応えがあり特別展等の
美術品を鑑賞し感性を磨きまし
た。そのあと県議会議場を見
学。池田副議長から県政につ
いてのお話を伺い、意見の交換も
行いました。

盛りだくさんの研修内容とな
りましたが、見聞を広げること
ができ大変充実した研修となり
ました。この研修で学んだこと
を、今後の活動に生かしてい
きたいと思っています。



1班 7/12 (火)
2班 7/21 (木)
3班 7/22 (金)

庄原のいいところ再発見!

～写真でたどる「庄原百景」～

ふれあいサロン
おいでませの会



庄原在住の渡部和夫さんが、長年にわたり自分で撮影された庄原の
名所・旧跡、町並みの写真やこれまでに収集されていた記録写真を編集さ
れ、スライドショーにして、一つひとつの写真の説明をユーモアを交えな
がらわかりやすく話してくださいました。

渡部さんの写真やトークには地元庄原に対する深い郷土愛を感じまし
た。また、長い時間をかけこれまでの資料を収集し、まとめられたことに
頭が下がります。

会員、ボランティアのみなさんからは「長らく庄原に住んでいるけれど
初めて知ることやあって、いろいろなことをよく調べておられて感心しました」「年号や人名などよく
覚えておられてびっくりしました」などの感想がありました。

参加者のみなさんがそれぞれに昔を思い出し、懐かしむことができたひとときでした。



▲渡部神社 秋祭り獅子舞



▲花まつり白蓮行進
中本町



8/31
(水)

バラの夏剪定



Showバラの会

初秋の候……と言うにはまだまだ暑かったこの日、夏剪定の会が行われました。夏の間にぐんぐん伸びた枝を整えることもその目的の1つですが、この時期に剪定を行うと、ちょうど荘原地区文化祭の行われる10月半ばに開花を迎えることができます。

暑い中ご参加くださった「Showバラの会」の皆さん、どうもありがとうございました！

地域の皆さん、10月15日(土)～10月16日(日)の文化祭にはぜひ足をお運びください。



「こども事業」の中止について

荘原コミュニティセンター事業及び地域事業にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

例年9月発行のセンター報には、夏休み中に開催した「子ども事業」の様子を、紙面所狭しと掲載しております。しかし、今年は夏休み前から急激にコロナ陽性者が増加したため、教育機関等と相談した結果、大変残念ではありましたが全ての「こども事業」を中止といたしました。いつもの夏は、コミセンの事業に参加した子どもたちの元気な声があふれ、賑やかな荘原コミセンとなりますが、今夏はとても静かで寂しささえ感じるほどでした。

季節が移り変わりますと、荘原コミセンでは文化祭等の事業を計画しております。コロナ対策等を万全に行い、できる限り計画した事業を実施したいと考えております。今後も皆様のご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

リサイクルステーション閉鎖のお知らせ

出雲市環境保全連合会荘原支部

10月15日(土)と10月16日(日)は荘原地区文化祭開催のため、リサイクルステーションを閉鎖致しますので、予めご了承ください。

開設日	開設時間
10月 8日(土)	通常通り 8:30～17:00
10月 9日(日)	
10月15日(土)	閉鎖
10月16日(日)	

ご寄付御礼

香典返し 金一封

藤森 観海様(中本町自治会)
昌子 辰郎様(北本町自治会)
小村 貴紀様(新生町自治会)
伊藤 剛様(大井上自治会)
幸治 様(羽根東自治会)

皆様からお寄せいただきましたお志は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原「コミュニティセンター」まで受け付けております。